

自衛官の処遇改善



給与の大幅アップ



民間給与との較差を解消するため初任給・若年層を重点に自衛隊全体の俸給を引き上げました

- ・自衛隊候補生の入隊後1年目の年収は、令和6年度（当初）と比較して、令和7年度は60万円以上の増加
- ・任期満了後、大学等に進学する場合の給付金の引上げに加え、支給対象を拡大
- ・営内または艦内で生活する場合に年間20万円、最大6年間で120万円支給される【指定場所生活調整金（仮称）】が新設

自衛官候補生から陸上自衛官になり
2任期（4年）で退職した場合の給与総額は

約1,932 万円

定年退職した場合の生涯年収は約 2.8 億円

自衛官候補生から海上自衛官になり
2任期（5年）で退職した場合の給与総額は
※護衛艦等で勤務した場合は約 3,092 万円

約 2,443 万円

定年退職した場合の生涯年収は約 2.8 億円
※護衛艦等で勤務した場合は約 3.3 億円

自衛官候補生から航空自衛官になり
2任期（5年）で退職した場合の給与総額は

約 2,443 万円

定年退職した場合の生涯年収は約 2.8 億円

様々な自衛隊の手当（一例）



- 【航空機整備員に支給する手当の新設】対領空侵犯措置を行う航空機を整備する隊員に 日額1,200円を新たに支給
- 【医療従事者に支給する手当の新設】勤務時間外に医師等が救急外来患者に1時間以上 診療業務を行った場合に日額 6,000円 ～ 18,000円を新たに支給
- 【災害現場等に派遣される隊員に支給する手当の引上げ】日額1,620円 ⇒ 2,160円
- 【航空手当の支給割合の引上げ】・戦闘機等の上限：初号俸 × 80% ⇒ 90%（例：1尉の場合、月額約3.2万円の増加）
・その他乗員の上限：初号俸 × 60% ⇒ 70%（例：1尉の場合、月額約3.2万円の増加）
- 【自衛隊奨学生制度の学資金の引上げ】月額 54,000円 ⇒ 80,000円（約1.5倍）（年額960,000円）

生活・勤務環境の改善



- 【通信環境（インターネット）の改善】
- ・これまでの厚生棟や僻地・離島の生活隊舎のみの設置から、それ以外の駐屯地・基地における生活隊舎の自習室等に拡充
- ・海自艦艇では、メール送受信や番組・動画等の視聴は、これまで食堂などの共用区画に限られていましたが居住区画にも拡充

様々な自衛隊の魅力



- ・一般隊員はほぼ残業がなく、定時で帰れる（当直や訓練などの特殊な勤務状況にある場合を除く）
- ・基地、駐屯地内での生活に限り衣食住無料
- ・自衛隊病院、基地内の医務室に受診すれば医療費無料
- ・有給休暇などを合わせると、休日が年間 150 日近くある



自衛官募集

自衛官候補生

- ・多彩な資格（免許）が取得可能
- ・任期制で任期満了後に特例退職手当が支給
- ・再就職支援や進学支援で人生のサポートを提供

一般幹部候補生

- ・大学などの文系、理工系を卒業した人を対象に幹部自衛官を養育するコース
- ・【幹部候補生】曹として数年間の勤務を経て幹部候補生学校に入校し、幹部に任官できる制度もあります

一般曹候補生

- ・幹部や航空機のパイロット等へのキャリアアップも可能
- ・多彩な資格（免許）が取得可能
- ・定年退職後の再就職サポートも充実

お問い合わせ

自衛隊三重地方協力本部

〒514-0003 三重県津市桜橋1丁目91

（TEL）059-225-0531

（ホームページ）<https://www.mod.go.jp/pco/mie/>

HP



2025_4-kouhoutirasi

X



Instagram



YouTube



各事務所連絡先

